

教員免許更新制廃止へ！！！！

教員免許更新制は、第1次安倍政権時代、「不適格教員には厳しい対応を」として、2007年に教育職員免許法が改正され、2009年度から導入されました。教員免許更新制について、湘南教組は、導入検討段階から運用による一方的な管理強化や恣意的な教員選別につながりかねないこと、また、多忙な学校現場に拍車をかけること、さらに、更新にかかる費用負担の課題等の観点から、教員免許更新制に反対の運動にとりくんできました。

文科省に対しては、日教組に結集し、日政連議員と連携したとりくみをすすめてきました。また、県・市町教委に対しては、総論・全体交渉の場などを通じて、教員免許更新制の課題についての組合員の具体的な声を繰り返し届け、制度廃止を国に働きかけてほしいと訴え続けてきました。さらに、組合員一体となった運動として、教育問題シンポジウムやPTAと共催する会議を開催し、教員免許更新制がもたらす弊害について保護者や市民に理解してもらい、世論喚起も行ってきました。

湘南教組の15年間にわたる粘り強いとりくみもあり、8月23日、中教審は、「教員免許更新制を発展的解消することが適当」とし、「教員免許更新制」の事実上廃止の方向性を示し、文科省は2023年4月からの新制度をめざすとなりました。

湘南教組は、新たな制度については、更新制導入以前の制度と同じ扱いにしていく必要があると考えています。しかし、文科省が示す新制度は、教員免許更新制の代替となる研修や受講履歴等を管理するシステムの構築や充実が記載されており、教員の多忙化に拍車をかけることが懸念されます。

湘南教組は引き続き日教組、神教組に結集し、教育職員免許法の改正と新制度に関する課題の解決にむけてとりくんでいきます。

2021人事院勧告（国家公務員に対する勧告）

- ・妊娠・出産・育児に関わる休暇等で前進！
（範囲を非正規職員にも拡大。産休の有給化なども！）
- ・一時金は0.15月分引き下げ、月例給は改定なし

皆さんの声を県に届けましょう！！

国家公務員への勧告は、コロナ禍で奮闘する職員には厳しいものになりました。今後、県の人事委員会が、私たちの給与と民間の給与について調査・比較し、県に勧告をします。厳しい財政の中でも私たちの生活を維持するためには、神教組を通して、私たちの思いを人事委員会や県に伝えることが重要です。

今後の署名や寄せ書きのとりくみで、現場の声を届けましょう！！

鎌倉市教委との全体交渉

8月4日、鎌倉市教育委員会と「2022年度教育施策・予算要求全体交渉」を行いました。

執行部の総括質疑としては、①湘南教組との事前協議及び協力体制の確立について、②鎌倉市教育委員会の2022年度重点施策について、③教職員の働き方改革・多忙解消に向けての具体的な対応について、④今後すすめられる教育施策についての4点を要求しました。



回答は次の通りです。

〇2022年度の予算編成について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、引き続き厳しい査定になることが予想されるが、教育委員会としても小中学校施設整備事業、ICT教育環境整備事業、コミュニティ・スクール整備事業などの重点事業は着実に実施していきたい。

〇働き方改革・多忙解消について

鎌倉市学校職場環境改善プランⅡのとりくみをすすめるとともに、教職員が心身ともに健康を維持し、生き生きと働くことができる職場づくりをすすめることで、子どもたちと向き合う時間や自己研鑽できる時間を確保することに努める。今後も業務改善、人的配置による支援、快適に過ごせる環境整備に向けたとりくみを積極的にすすめていく。

〇今後すすめられる教育施策について

GIGAスクール構想をはじめ、鎌倉版コミュニティ・スクール、企業や大学との連携など、今後も研修等を行い、推進校でのとりくみを発信するなど、丁寧に施策をすすめていく。

新たな教育施策が、子どもたちのためになるには現場教職員が理解し、学校が一体となってとりくむことが必要不可欠です。子どもの豊かな学びを保障し、教職員の主体性、創造性ある教育活動が展開されるよう、今後も分会員、執行部が一丸となってとりくむことが重要です。

藤沢市教委との全体交渉・要求

8月3日藤沢市教育委員会と「2022年度教育施策・予算要求全体交渉・要求」を行いました。

執行部の総括質疑としては、①教職員の健康を確保し、快適な職場環境を実現すること、②教職員の多忙を解消するための具体的な施策を講じること、③インクルーシブ教育推進に向けた、条件整備をすすめること、④休職等に際する代替者の確保に向けた方策を講ずること、⑤臨時的任用教職員・任期付職員・非常勤教職員・再任用教職員及び市費講師の勤務条件について、任用時の説明や、管理職および職員への周知等、働きやすい労働環境を整備すること、⑥湘南教職員福利厚生会の事業推進のために、十分な支援を行うこと、⑦藤沢市立教職員服務規程において課題が生じた場合、検討していく機会を設けること、について交渉しました。



回答に関しては藤沢の各分会に別紙でお配りしていますのでそちらをご覧ください。

教育施策・予算要求に関しては前向きな回答を受けましたが、藤沢市の厳しい財政状況から、引き続き、粘り強く要求していく課題が多くありますが、早期の段階で目に見える形で改善されるよう、今後も声を上げていきたいと思います。

県教育予算要求（総論交渉）

8月30日、神奈川県教育委員会と総論交渉を行いました。神教組からは、重点項目として、教職員定数を確実に配置すること、中堅教諭等資質向上研修と教員免許更新講習との相互認定を早期に実現すること、

「働き方改革」については、今後のとりくみに関する具体的な施策の実施について、市町村教育委員会に対する支援と連携において速やかに行うこと、インクルーシブ教育実践推進校の拡大に向け、さらなる条件整備をはかること等を要求しました。

湘南教組からは、①スクールソーシャルワーカーおよびスクールカウンセラーの更なる配置の拡充と時間数の増加について、②スクール・サポート・スタッフの時間数の増加について、を要求しました。



教育実践講座

<キミ子方式で粘土細工を作ろう!!>

7月27日、鎌倉市立大船小学校にて、2年ぶりに開催され、20名が参加しました。今回は「粘土で作るうさぎ」でした。現れたのは講師の松本一郎さんだけでなく、なんと、本物のうさぎ！ かわいいうさぎに触れながら作りました。出来上がった作品を愛おしそうに眺める皆さんの表情が印象的でした。



<参加者の声>

- ・実際に“うさぎを見ながら”“さわりながら” 作ることができたので、より本物に近いうさぎを作ることができました。また部分から全体へ作ること、みんなが上手く作れる方法を知れた気がします。
- ・一つ一つの工程をつなげていくキミ子方式を実践を通して、理解することができました。講師の方の言葉がけなども、とても勉強になりました。
- ・部分→全体へという絵と同じポイントで説明だったので、とても分かりやすかったです。分からないときや途中で、一郎さんが「おっ、いいね。」「すごい！すごい！」と褒めてくださることで、やる気アップになりました。



<ネイチャーゲーム～学校にある自然を生かして～>



7月29日、茅ヶ崎市立梅田小学校にて、16名が参加し、日本シェアリングネイチャー協会トレーナーであり、元小学校教諭の井上満先生より「ネイチャーゲームの理論と実践」の講座が開催されました。ネイチャーゲームは、自然に関する特別な知識がなくても、豊かな自然の持つさまざまな表情を楽しめる自然体験活動で、自然の不思議や仕組みを学び、自分が自然の一部であることに気づくことができる活動です。今回は、井上先生が楽しいアクティビティを実際に体験することを通してネイチャーゲーム理論を教えてくださいました。

<参加者の声>

- ・学校の校庭にある木の葉っぱを使い、笛を作ったり、動物をつくったりすることができて楽しかった。
- ・学校には多くの自然があり、今回学んだことを生活科などの時間に生かしていきたい。

執行部のつばやき

僕に、教組ニュースの“つばやき”がまわってきた。ここでは、各々が自由に書き綴ることができる場所だ。せっかくの機会なので“自由”に書いてみたいと思う。

個人的な事で恐縮だが、我が家にはもうすぐ3歳の娘と5ヶ月の息子がいる。今、5ヶ月の息子を抱っこしながらつばやいている。時たま息子が「ご〜ごえ〜ん」と唸るので、筋トレと思って屈伸運動を繰り返して、我が子をあやしめながらキーボードを打っている。リビングでは、娘が大声（奇声！？）を発しながら大騒ぎをして走り回っている。心の中では、この部屋には来ないでくれ！と思いながら。

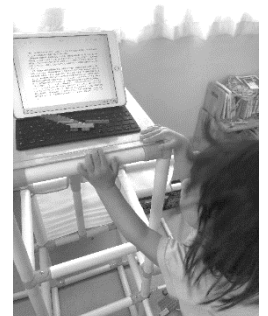
さて、毎年夏になると後輩たちのために、職場の仲間たちと採用試験の模擬授業や面接の練習をしている。そんなことをしていると、「僕が教員になったのはなんでだろう？」と振り返ることができる。自身が臨任・非常勤だった頃を思い出すのである。懐かしくもあるが、採用試験になかなか合格しない身としては、毎年夏は嫌な季節だったこともついでに思い出すのである。ただ、当時を振り返ると先輩方が熱心に試験の練習に付き合ってくれたことは、なんだかいい思い出である。毎年試験に受からない先輩とともにプールで水泳の練習をしたり体育館でバスケの練習をしたりしたことを。（その後、先輩は先に合格）兎にも角にも、採用試験を受ける人たちにはいち早くこの嫌な季節を脱し、合格して欲しいと願うばかりである。と、同時に「本当に教員でいいの？」「他にも職業あるよ？」「受かっちゃっていいの？」とも伝え……。冗談はさておき（本心だけど）、教員として生きていくなら、「キョーイン」にはなって欲しくないと考えたり、思ったり、願ったり。「キョーインである前に1人の人間だ！」と、退職された先輩方のお言葉や、「最後は人間性だ！」とも言われたのを、今でも心に突き刺さっている。人間性だと言われたら、もう早期退職の選択肢しかないのではないかな……。もう少しだけ、続けてみようかな。（笑）

今、思うことは、湘南の教育は、湘南の教員が自ら創造していかないといけない、ということに尽きる。コロナ禍においてははっきりしたことは、日本の社会や、世界を見ても差別や偏見、格差等が顕著に現れたことだ。新たに出現したわけではなく、潜在的にある差別や偏見の意識が根強くあるということ。教員が「キョーイン」である限り、差別や偏見を助長し、格差が広がっていくのだと感じる。大空学校の初代校長木村泰子さんの言葉を思い出す。

「指導の言葉は暴力になる。」と「人は差別をする心をもっている。」

キョーインという権力者は、“指導”という言葉をよく使う。この“指導”の言葉は本当に“暴力”だと思う。僕は、この“指導”という言葉は好きじゃない。“指導”といえど、何でも“正当化”されてしまうからだ。子どもの側からしたら、「大きなお世話」か「暴力」なのである。そうではない“指導”もあるかも知れないが、僕は子どもたちとともに楽しく過ごしたいだけである。そして、人は差別する生き物であることを忘れてはいけない。数年前から提唱！？しているのが、「無意識の差別性」と「合理的排除」である。教員が何気なく使っている“指導”は、子どもたちにとっては差別をされていると抱くかも知れない、と、教員が意識するだけでも差別を助長しないのかも知れない。逆をいうと、教員は子どもたちに対して無意識のうちに差別を助長している、または、差別をしているということ。よかれと思って、“指導”していることが、結果的に合理的配慮という名の排除を行う“合理的排除”が行われているのではないかな。そんな意識を、頭の片隅に住まわせて欲しいと思う。子どもたちに「差別をしてはいけませんよ。」「偏見をもってはいけませんよ。」と“指導”しているキョーインが“差別”や“偏見”をもっているのだから……。その先を子どもたちと考えなければいけないことなのに。そんなことを考えながら、もう少し子どもたちと一緒に学んで歩んでいきたいと思う、今日この頃です。

つばやきを書いているうちに、娘が部屋に入って来て1人でずーっとおしゃべりしながら暴れ回る顛末であった。



第67回関東地区「母と女性教職員の会」



8月6日、関東地区「母と女性教職員の会」全体会が Web にて開催されました。

講師の北原誠さんが草津を歩きながらお話された「もう一つの草津温泉を歩く～知られざる歴史 ハンセン病～」という内容の動画を各地区にて鑑賞しました。北原誠さんは、旧国立多摩研究所（現ハンセン病研究センター）に配属されたことがきっかけとなり、国立ハンセン病療養所を経て、重監房資料館に学芸員として勤務、重監房をはじめハンセン病問題全般にわたる調査研究、展示企画、講演等に携わっていらっしゃいます。北原さんの淡々とお話される悲惨な歴史は、心に強く訴えるものがありました。全国有数の温泉地で知られる草津温泉には、古くからハンセン病の湯治場として、患者自治による集落がありました。その後、ハンセン病療養所がつくられ、患者は強制的に入所させられました。逃亡や反抗により全国の療養所内の監禁室に入れられた患者の中でも、手に負えない患者を集め収容したのが、草津の「重監房」です。闇、飢餓、孤独、極寒と、とても過酷な監房でした。



他の病気では考えられない深刻な偏見や差別にさらされたハンセン病の歴史を知り、人権について考える貴重な機会となりました。無理解により生まれる差別や偏見をなくすためにも、「知ることで慮る」優しい社会をめざしていきたいと思いました。

湘南教組 当面の活動予定

日程	予定	開始時刻	場所	対象
9月 9日(木)	鎌倉地域協議会 中止	16:30	鎌倉芸術館	分会長
9月14日(火)	藤沢地域協議会 中止	16:15	湘南教育会館	分会長
9月16日(木)	茅ヶ崎・寒川地域協議会 中止	16:30	湘南教育会館	分会長
10月 8日(金)	茅ヶ崎市予算要求全体交渉	13:30	茅ヶ崎市役所	執行部・各専門部
	鎌倉市各課交渉	14:00	鎌倉商工会議所	
10月11日(月)	鎌倉市各課交渉	14:00	鎌倉商工会議所	執行部・各専門部
10月13日(水)	鎌倉市各課交渉	14:00	鎌倉商工会議所	執行部・各専門部
10月21日(木)	藤沢市各課交渉	15:30	藤沢市役所	執行部・各専門部

湘南教組の情報をより早くうけとりたい方は、こちらからメルマガのご登録をお願いします。コロナ禍の服務に関わること、学習会の開催情報、その他にも組合員のためになる情報を定期的に発信しています！

